

第4回東京都北区子ども・子育て会議 就学前教育・保育部会次第

日時：平成26年7月25日（金）

午後6時30分～

会場：北とびあ9階902会議室

1 開会

2 議事

- (1) 教育・保育の「量の見込み」「確保方策」について
- (2) 区立幼稚園の今後の方向性について
- (3) その他

3 閉会

【配布資料】※資料2、3は事前送付済みです。

| | |
|-----|-----------------------|
| 資料1 | 教育・保育施設の「量の見込み」「確保方策」 |
| 資料2 | 認定こども園視察報告 |
| 資料3 | 今後の会議開催スケジュール |

(仮称) 北区次世代育成支援計画 (案)
(抜 粋)
(H26.7.25 作成)

第5章 子ども・子育て支援事業計画

3. 「幼児期の教育・保育」の量の見込みと
提供体制の確保の内容及びその実施時期

3 「幼児期の教育・保育」の量の見込みと提供体制の確保の内容及びその実施時期

(1) 保育園（所）・認定こども園・地域型保育

【今後の方向性】

- 認可保育所の利用ニーズが高いことから、基本的に認可保育所を基軸とした新規整備を進めます。
- 認可保育所への移行を希望する認証保育所で、設置運営基準を満たす見込みのある施設に対して支援を行います。
- 保育事業について、多様なサービスを選択できるよう体制の整備に努めます。
- 地区間において、施設や事業の偏在、需給バランスの不均衡が生じた場合、状況に応じて解決策を検討し、調整を行います。

【赤羽地区】

| | | 1年目 (平成27年度) | | 2年目 (平成28年度) | | 3年目 (平成29年度) | | 4年目 (平成30年度) | | 5年目 (平成31年度) | |
|--------|------------|--------------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|------------------|
| | | 3-5歳 保育の必要性あり 保育利用 | 0-2歳 保育の必要性あり | 3-5歳 保育の必要性あり 保育利用 | 0-2歳 保育の必要性あり | 3-5歳 保育の必要性あり 保育利用 | 0-2歳 保育の必要性あり | 3-5歳 保育の必要性あり 保育利用 | 0-2歳 保育の必要性あり | 3-5歳 保育の必要性あり 保育利用 | 0-2歳 保育の必要性あり |
| ①量の見込み | | 1,395人 | 1,270人 | 1,415人 | 1,309人 | 1,458人 | 1,341人 | 1,492人 | 1,369人 | 1,535人 | 1,383人 |
| ②確保の内容 | 保育園・認定こども園 | 1,592人 | 1,137人 | 1,699人 | 1,182人 | 1,753人 | 1,227人 | 1,753人 | 1,227人 | 1,753人 | 1,227人 |
| | 地域型保育事業 | | 0人 | | 0人 | | 0人 | | 18人 | | 18人 |
| | 認可外保育施設等 | 5人 | 145人 | 5人 | 145人 | 5人 | 145人 | 5人 | 145人 | 5人 | 145人 |
| ②-① | 過不足 | 202人 | 12人 | 289人 | 18人 | 300人 | 31人 | 266人 | 21人 | 223人 | 7人 |

【王子地区】

| | | 1年目 (平成27年度) | | 2年目 (平成28年度) | | 3年目 (平成29年度) | | 4年目 (平成30年度) | | 5年目 (平成31年度) | |
|------------|----------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|
| | | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり |
| | | 保育利用 | | 保育利用 | | 保育利用 | | 保育利用 | | 保育利用 | |
| ①量の見込み | | 960人 | 863人 | 952人 | 887人 | 949人 | 909人 | 972人 | 927人 | 999人 | 937人 |
| ②確保の 内容 | 保育園・認定 こども園 | 1,091人 | 892人 | 1,091人 | 930人 | 1,091人 | 930人 | 1,091人 | 930人 | 1,091人 | 930人 |
| | 地域型保育 事業 | | 18人 | | 18人 | | 18人 | | 18人 | | 18人 |
| | 認可外保育 施設等 | 0人 | 94人 | 0人 | 94人 | 0人 | 94人 | 0人 | 94人 | 0人 | 94人 |
| ②-① | 過不足 | 131人 | 141人 | 139人 | 155人 | 142人 | 133人 | 119人 | 115人 | 92人 | 105人 |

【滝野川地区】

| | | 1年目 (平成27年度) | | 2年目 (平成28年度) | | 3年目 (平成29年度) | | 4年目 (平成30年度) | | 5年目 (平成31年度) | |
|------------|----------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|
| | | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり | 3-5歳 保育の 必要性あり | 0-2歳 保育の 必要性 あり |
| | | 保育利用 | | 保育利用 | | 保育利用 | | 保育利用 | | 保育利用 | |
| ①量の見込み | | 859人 | 851人 | 872人 | 923人 | 927人 | 945人 | 966人 | 966人 | 1,035人 | 976人 |
| ②確保の 内容 | 保育園・認定 こども園 | 857人 | 765人 | 1,001人 | 805人 | 1,055人 | 847人 | 1,109人 | 883人 | 1,163人 | 919人 |
| | 地域型保育 事業 | | 0人 | | 0人 | | 0人 | | 0人 | | 0人 |
| | 認可外保育 施設等 | 0人 | 65人 | 0人 | 65人 | 0人 | 65人 | 0人 | 65人 | 0人 | 65人 |
| ②-① | 過不足 | ▲2人 | ▲21人 | 129人 | ▲53人 | 128人 | ▲33人 | 143人 | ▲18人 | 128人 | 8人 |

※「確保の内容」は施設定員数。

保育園・認定こども園：認可保育園、認定こども園(保育利用分)

地域型保育事業：小規模保育所、事業所内保育所

認可外保育施設等：認証保育園、定期利用保育施設、家庭福祉員

(2) 幼稚園・認定こども園

【今後の方向性】

- 就学前教育の必要性が増しており、幼稚園・認定こども園に対する需要は今後増大する見込みです。
- 地域における子育て相談や親子の交流の場として、幼稚園・認定こども園の役割はより重要となります。
- 保護者の就労状況に関わりなく、子どもが教育・保育を一緒に受けることのできる認定こども園の設置は、条件さえ整えば拡大していくものと想定されます。

【全域】

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ① 量の見込み | 3,559 人 | 3,587 人 | 3,698 人 | 3,807 人 | 3,963 人 |
| ② 確保の内容 | 4,969 人 | 4,969 人 | 4,969 人 | 4,969 人 | 4,969 人 |
| 過不足 (② - ①) | 1,410 人 | 1,382 人 | 1,271 人 | 1,162 人 | 1,006 人 |

※「確保の内容」は園則定員数。

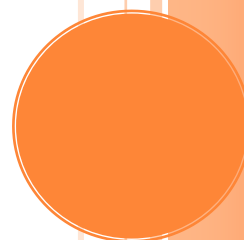
幼稚園・認定こども園（教育利用分）

子ども子育て会議
就学前教育・保育部会

認定こども園視察報告

第4回就学前教育・保育部会資料

子ども子育て会議事務局
2014/07/25



認定こども園視察報告

1. 視察月日：平成26年7月3日（木）
2. 視察先
 - (1)目黒区立げっこうはらこども園
 - (2)台東区立石浜橋場こども園
3. 参加者（所属団体名・敬称略、順不同）
 我妻委員、鈴木委員、佐田委員、堀江委員、内海委員、大塚委員、小川委員、橋本委員、小林委員、小針委員、高橋委員、服部委員、栗原、筒井、久保寺、菅野、田口、田草川、橘、松塚、坂本、難波、浅香、野尻、堀内、田中（以上26名）

4. 視察先概要

(1)目黒区立げっこうはらこども園

幼稚園型、平成26年4月開園

（常勤11名、非常勤6名、臨時職員等6名）

| 定員 | 短時間 | 中時間 | 長時間 |
|----|-----|-----|-----|
| 3歳 | 16 | 2 | 3 |
| 4歳 | 24 | 6 | 5 |
| 5歳 | 24 | 6 | 5 |
| 合計 | 64 | 14 | 13 |

(2)台東区立石浜橋場こども園

幼保連携型（年齢区分型）、平成20年4月開園

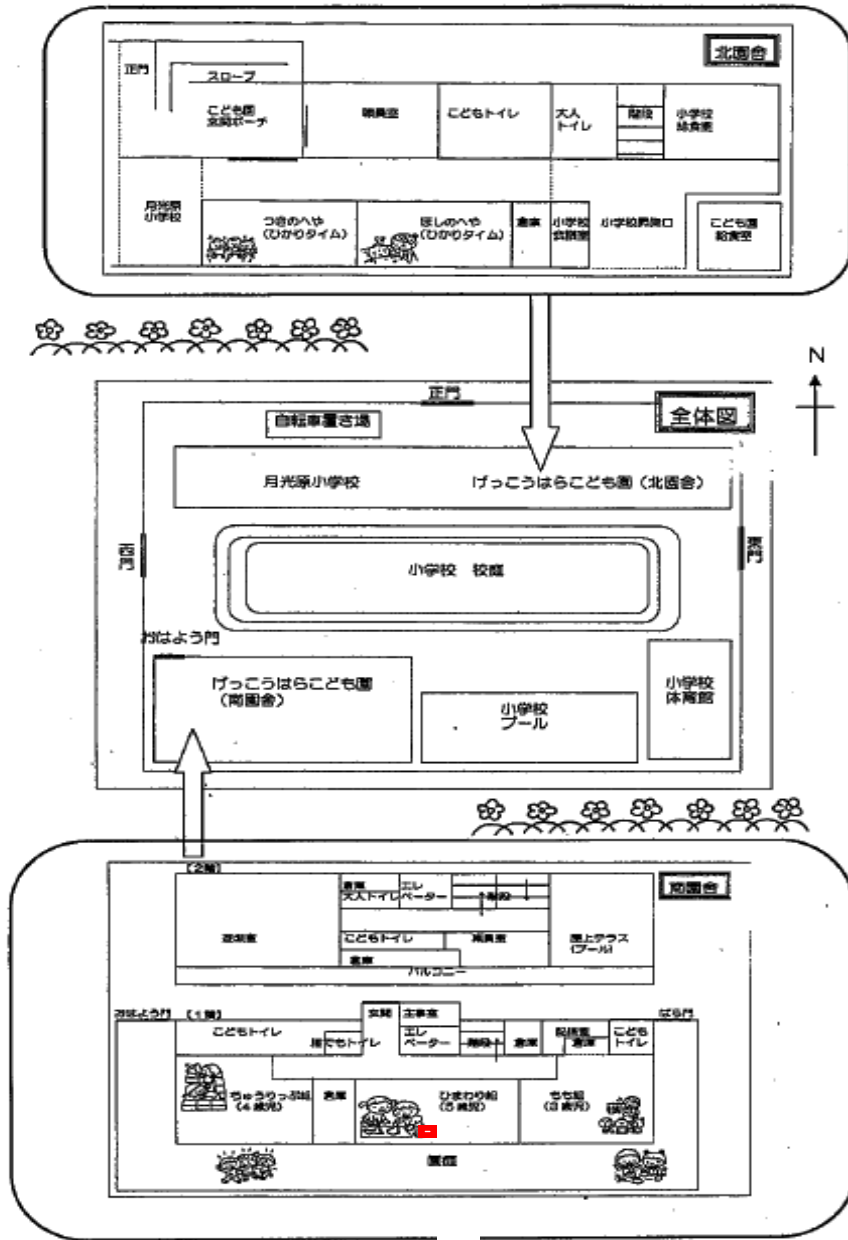
（常勤19名、非常勤9名、臨時職員等17名）

| 定員 | 短時間 | 中時間の区分なし | 長時間 |
|----|-----|----------|-----|
| 1歳 | / | | 13 |
| 2歳 | | | 15 |
| 3歳 | 13 | / | 15 |
| 4歳 | 18 | | 15 |
| 5歳 | 18 | | 15 |
| 合計 | 49 | | 73 |

5. 施設配置図

げっこうはらこども園

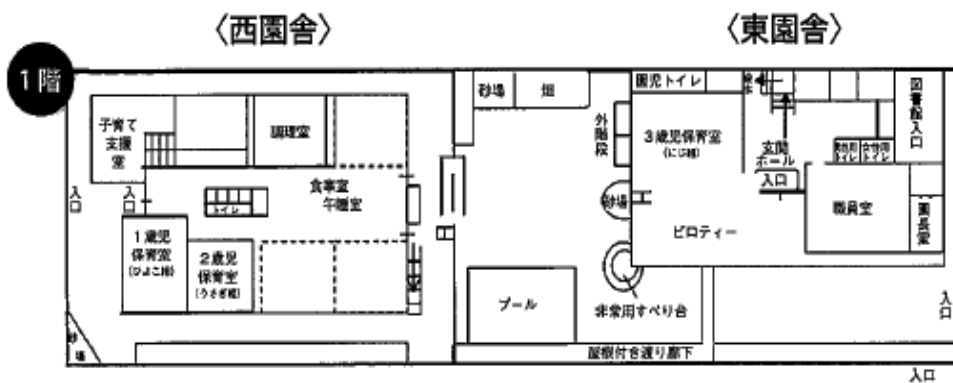
園舎地図



地域に開かれた子ども園を教育活動に掲げ、同一敷地内の月光原小学校との交流、近隣幼稚園・中学校、その他との交流活動を進めている。施設は、南園舎と北園舎（小学校校舎内）及び新たに増築した給食室で構成されている。小学校の敷地内にあるので、校庭や体育館を使える時間もある。子育て支援活動として入園前の未就園児を対象としたうさちゃんクラブを設けている。

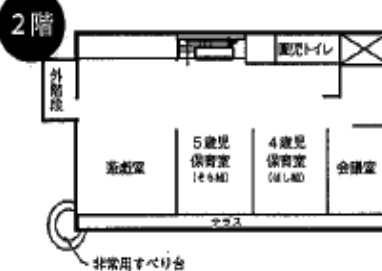
石浜橋場こども園

 園舎・園庭案内



総面積 2059.18㎡

| 【西園舎】 | 【東園舎】 |
|------------------------|--------------|
| 建物敷地 467.80㎡ | 建物敷地 986.71㎡ |
| 園庭 196.60㎡ | 園庭 408.07㎡ |
| 西園舎2、3階は母子生活支援施設、学童保育室 | |
| 東園舎3、4階は図書館 | |



台東区内唯一の公設公営のこども園で開設7年目である。
 幼保一体型のこども園で、保育園1園と幼稚園1園で形成する。
 施設は西園舎と東園舎及び園庭で構成され、1～2歳児は西園、
 3～5歳児は東園で過ごす。
 西園舎の2・3階には母子生活支援施設と学童保育室、東園舎の
 3・4階には図書館が併設される複合施設となっている。

6. 参加委員の主な感想・質問

◇感想 げっこうはらこども園

*げっこうはら子ども園の園長先生が、何よりも子どもにとって一番良い環境になるように、公立幼稚園の良さを維持したまま移行できるよう頑張った、と熱くお話しされていたのが印象的でした。

*げっこうはら子ども園は、幼稚園からの移行という事で組織としてすっきりしている印象でした。

*給食室が離れていることや幼稚園教育時間帯以外の保育となっている時間帯の移動は設備上仕方ないのでしょうか。できれば施設内に作りたいところです。

*長期休業中の保育内容、途中入園など幼稚園とは違う部分で工夫があると思います。

*園長先生のお話にもあったように、げっこうはら子ども園では幼稚園型ということもあり幼稚園とさほどかわらない方法で進められているように感じました。

*施設面でも幼稚園園舎として使用していたところを幼児教育中心の施設とし、それ以外の保育の部分は小学校の校舎内の教室を使用するなど、既存の施設を活用し長時間保育の子どもたちにとっても生活の切り替えができるのではないかと思います。

*3歳児からということ、預かり保育の人数が少ないことを考えると集団も小さく子どもたちにとっても負担が少なくゆったりと生活できるような印象でした。

◇感想 石浜橋場こども園

*石浜橋子ども園は、人的配置、保育の流れともに今の制度の中で出来ることを工夫されているようですが、子どもたちの行き来、職員の連携の面から日々苦勞があるだろうと推察します。

職員の所属についてもそのままという事に驚きましたが、現在の制度中での制約によることなのでしょう。

* 幼保連携型は 幼稚園型、保育園型よりも時間をかけて検討が必要であることを実感します。これまでの試行の上に今日の形があるのだと思いました。

* 幼保連携型の石浜橋場子ども園でのお話を聞き、幼稚園、保育園と一緒に一つの子ども園を作っていくためにはそれなりの時間がかかると思われた。

* 乳児から進級してくる園児もいるため預かり保育の人数も多くなる。子どもたちの人数を考えると幼児教育の時間に使用する場と預かり保育の時間に使用する場の工夫が難しいと感じた。

* 長時間保育の子どもたちにもゆったりと充実した生活が送れる場は必要である。

◇感想 共通

* げっこうはら子ども園（幼稚園型）石浜橋子ども園（幼保連携型）ともとても工夫されており、かなり討議をし検討を重ねて今に至っている様子がうかがえた。

* 幼稚園教諭、保育士と持っている資格により仕事内容が限られているが、新制度に移行すると保育教諭となることで現場の仕事が進めやすくなっていくのではと思われる。

* 先生のシフト組みなど、実際に見てみなければ分からないことが視察で知ることができ、とても有意義な視察でした。

* 施設運営所管と職員人事所管が分かれ、募集も一本化できないとの話を聞くと区立幼稚園はまだしも私立幼稚園はその煩雑さにしり込みするのではないか。

* げっこうはらこども園は隣接している小学校の校舎に調理場と保育園部分を増設、石浜橋場こども園は隣り合っていた保育園と幼稚園を合体させるなど、幼稚園教育のコアな部分を大事にして、様々な点で工夫されていることが分かった。

北区でもこのような例を可能な範囲で取り入れられると良いと思う。ただ、私立は国の規定に従い、保育園の園庭は狭く、幼稚園には調理場がない。それらを増設する場所の余裕はあるのか？規定を緩めるなどしないと、移行は難しいのではないか。

*施設の状況にもよるが、子どもたちにとっても、給食の配膳を考えてもできるだけ移動が少ないほうがよいと感じた。同じ建物で調理室も確保できるとよいと思う。

*給食に関しては保育園部分で多く作って搬入か、外部委託すれば給食室を増設できない幼稚園でも移行可能かと思います。

*実際移行するとすると、北区の公立幼稚園の場合、小学校併設・隣接型のたきさん幼稚園、うめのき幼稚園、ふくろ幼稚園この3園は幼稚園型のげっこうはら子ども園が参考になると思う。

ほりふな幼稚園は小学校より中学校が近く、すぐ目の前にあるので、中学との連携も面白いと思います。

さくらだ幼稚園とじゅうじょうなかはら幼稚園は、もし移行するとしたら幼保型で、1km以内なら近隣の保育園と連携できるのでそれぞれさくらだ保育園、上十条保育園と繋がることも可能と思います。

*保育園は園庭の広さが問題で移行が難しいかと思いますが、公立・私立幼稚園に関しては段階的に移行が可能だと思います。

*視察していて、公立幼稚園を見たことがないという声が多かったように感じました。私も保育園についてよく知らないので、幼稚園と保育園それぞれ見る機会があれば良かったかなとも思いました。

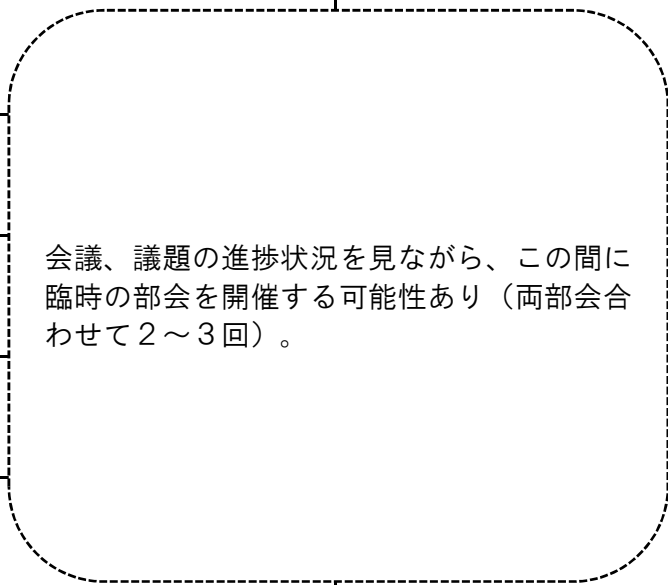
◇質問

*北区では、赤羽こども園が平成24年から認定こども園に移行していると聞きますが、そこはどのような状況なのでしょう？

*先日のニュースでは、「文部科学省は、5歳児が利用する幼稚園や保育所などの最終学年を義務教育とする方向で最終調整に入った」とのこと。保育園で教育を行うことが義務化されるとなると、どのような対応が必要になるのでしょうか？

【メ 毛】

今後の子ども・子育て会議及び専門部会の開催スケジュール（7/18更新版）

| | | 子ども・子育て会議 (委員数：25名) | 就学前教育・保育部会 (委員数：12名) | 子育て支援施策部会 (委員数：19名) | 備考 |
|-------|-----|--|--|--|--------------|
| 平成26年 | 1月 | | | | |
| | 2月 | | 2/14 ①ニーズ調査結果報告 1、②区域設定報告 | 2/4 ①ニーズ調査結果報告 1、②計画検討1（施策体 系）、③計画全体への意見 | |
| | 3月 | 3/11 ①ニーズ調査結果報告 2、②後期計画の評価、③ 計画検討2（施策体系） | | | |
| | 4月 | | 4/22 ①教育・保育の量の見 込み・確保方策1 | | |
| | 5月 | | | 5/21 ①地域子ども・子育て 支援事業の量の見込み・確 保方策1、②計画検討3 (本文) | |
| | 6月 | | 6/20 ①教育・保育の量の 見込み・確保方策2、②区 立幼稚園の今後の方向性1 | | |
| | 7月 | | 7/25 ①区立幼稚園の今後の 方向性2、②教育・保育の 量の見込み・確保方策3 | 7/9 ①計画検討4（本文） | 認定こど も園視察 |
| | 8月 | 8/5 ①量の見込み・確保方 策（総まとめ）②区立幼稚 園の今後の方向性3、③計 画検討5（本文）、④各種 基準の報告 第2研修室 | 下旬 ①量の見込み・確保方 策（総まとめ）②区立幼 稚園の今後の方向性2 | 上旬 ①計画検討5（本 文）、②各種基準の報告 | |
| | 9月 | 9/12 ①計画検討6（総まと め）、②各種基準の報告 スカイホール | | | 中間のま とめ提出 |
| | 10月 | 10/29 ①パブコメ・公聴会 の実施について スカイホール | 10/3 ①区立幼稚園の今後の 方向性4 701会議室 | | |
| 11月 | |  | | パブコメ 準備 | |
| 12月 | | | | パブコ メ・ 公聴会 | |
| 平成27年 | 1月 | 下旬 ①パブコメ・公聴会、 区議会の意見を受けて（計 画確定） | <p>会議、議題の進捗状況を見ながら、この間に 臨時の部会を開催する可能性あり（両部会合 わせて2～3回）。</p> | | 会派意見 |
| | 2月 | | | | 計画印刷 |
| | 3月 | | | | 計画配布 |

公立幼稚園の状況（23区）

| 区 | 園数 | 月額料金 ※ | 預かり保育有無ほか |
|-----|----------------|--------|-----------|
| 北 | 6 | 5,000 | × |
| 板橋 | 2 | 10,200 | × |
| 豊島 | 3 | 10,000 | ○ |
| 文京 | 10 (子1) * 3年6園 | 7,000 | ○ |
| 杉並 | 子6 | 8,000~ | △ |
| 中野 | 2 | 11,350 | × |
| 新宿 | 16 * 3年12園 | 6,000 | × |
| 世田谷 | 9 | 10,000 | ○(2園) |
| 渋谷 | 5 | 5,000 | × |
| 目黒 | 5→3 (子2) | 9,000 | △ |
| 荒川 | 9 (子1) | 7,500 | △ |
| 台東 | 13 (子2) * 3年 | 5,000 | △ |
| 江東 | 20 | 6,500 | × |
| 墨田 | 7 | 5,700 | × |
| 港 | 12 * 3年8園 | 4,800 | ○(2園) |
| 中央 | 13 | 5,000 | ○(3園) |
| 大田 | 全廃 (H22年~) | | |
| 品川 | 9 (子5) | 8,000 | ○(5園) |
| 練馬 | 3→全廃予定 | 8,000 | × |
| 足立 | 子3 | 11,000 | ○ |
| 葛飾 | 3 | 9,800 | × |
| 千代田 | 8 (子4) * 3年 | 4,000 | △、4園給食 |
| 江戸川 | 4→全廃予定 | 3,000 | ○ |

子（認定こども園） 3年（3年保育） △（こども園の延長保育）

※給食費など含まず、基本月額料金

※こども園について：平成18年から始まった幼稚園保育園一体型施設

公立の推移＝平成22年122件（532件中）→平成25年218件（1099件中）

・23区以外の東京都市部は私立幼稚園が主流で、公立幼稚園があるのは5市のみ。